



NO. 975

2014/6/22

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F 四三二一四四五七



消費税のさらなる増税を許さない 網走「市民の会」大宣伝!

「これ以上の増税は許さない」と「市民の会」は14日午後、ベーシック橋北店前に集まりました。



会員が20名程度参加し、宣伝カーによる宣伝、チラシ配布、署名活動に取り組みました。参加者は、のぼりを立て、プラスタを掲げて、買い物客に訴えていましたが、「会員になる」と申し込みをする人もいて、署名にも次々と応じてくれました。増税に怒っている市民が、いかに多いかということでした。

新婦人フェスタ

新日本婦人の会網走支部は、6月15日、新婦人フェスタを開催しました。パッチワーク、編み物、絵手紙をはじめ、新婦人が取り組んでいる子組み活動を紹介していましたが、すば

議会運営委員会

栗田委員の遅刻で流会

市議会は13日午後1時から「住民自治強化のため、市議会議員の定数を減らさずに議会を活性化させることを求める」陳情審議の予定でした。会派希望の栗田政男議員が定刻まで出席しなかったため、委員会が流会になりました。

いっせ東奔西走

私は共産党議員団を代表して議会運営委員になっていますが、今回の遅刻流会 はまことに残念です。

3年前にもある会派の委員が欠席し流会になり新聞報道されたことがあります。議会運営委員会は、構成している会派の一つでも欠席すると開かれません。それで委員が緊急な用務や私事が入った場合、裁決権はありませんが代理出席を認めています。だからこそ、緊張感をもっての議会活動が求められています。残り10ヶ月頑張ります。

菊地ひろし

6月議会の傍聴に行ってきました。

走の会から出された『戦争する国』づくりを反対する意見書提出を求める請願』の審議が総務文教委員会でおこなわれましたが、共産党の議員以外は政府同様に「国際環境が変わってきている」、「武力の行使も限定的だといっている」、「国会で論戦中だ」として市民の声、不安に比べようとしませんでした。

これでいいのか!

市民にこの様子を知らせなければと思った傍聴でした。

松浦奮戦も

先日、ある地域の20軒を訪問する活動をしました。その地域での訪問活動は初めてでしたので、緊張と

どんな出会いができるか楽しみでもありました。集団的自衛権行使に反対する署名を持ちながら1軒1軒訪問しましたが、留守宅が多かったです。それでも、お会いできたところでは、「このままでは安倍首相は、どこまで暴走するのかわからない」とか「こんな政治を選んだのも国民なんだよなあ、それにしても民主党は悪すぎたわ」などの声があり、快く署名してくれました。共産党への期待の声もあり、今が頑張り時と感じました。

流水

先月発表された人口推計によると「団塊の世代」の高齢者入りで、総人口の25、1%が65歳以上。生産人口(15

64歳)は減少し、高齢者も就労、あるいは自立して生活できる「健康寿命」が求められるようになってきました。▼また、高齢化が進むにつれて、寿命と栄養との関連、特に老人食についての研究が進んできました。調査によると、65歳以上の高齢者で栄養の不足傾向にある者は約4割、70歳以上では、ほぼ4人に一人に達するといわれます。▼高齢化は体脂肪の増加、筋肉の減少、食欲や消化能力の低下等の減少を伴いますので、それを補うため、特にたんぱく質やエネルギーの摂取量が不足しないように「多めに」とる事が丈夫で長寿のキーワード」とされています。▼この「たくさん食べて元気」の常識に最近疑問が出てきました。肉を中心にして1日に80グラム以上のたんぱく質を取ることは、健康上のリスクを伴うことや、過食が腸内細菌のバランスを崩し、腎臓などへの負担をますますの問題点が明らかになってきました。▼従って高齢者の食事は特に個人差を重視し大豆やその加工品、魚介類、野菜類などを適時組み合わせ(たんぱく質60グラム)とし低栄養にならないようすることが大切です。肉の取りすぎにはくれぐれも注意が必要です(K)